

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田喜代史

編集後記

▶ 本号の特集「小児画像診断における放射線被ばく低減への取り組み」は、日常の放射線医療の中でも「正当化と最適化」を最も必要とする領域であり、放射線科医が常に考えていなければならない極めて重要な命題です。2001年のAJRに掲載されたBrennerらの小児に対するCT撮影によるX線誘発癌の発生と癌による死亡率に関する報告では、米国で15歳以下の小児に対して行われるCT検査60万件によりもたらされるX線誘発癌による死亡は、およそ毎年500名と推定されるとしており、我々に大きな衝撃を与えました。米国で小児放射線学会の設立者の一人であるJohn Caffeyは、小児放射線医学の父と言われており、彼が執筆したPediatric X-ray Diagnosisは、小児放射線医学の聖書として認識されています。この本の中でもCaffeyは、小児放射線診療におけるX線被ばく低減の重要性を指摘しており、最新版でも第1章は、“Effects of Radiation on Children”であります。本特集は、小児画像診断を専門とされている権威ある先生方に日常診療における医療被ばく低減の取り組みについて詳細に執筆して頂きました。画像診断を行う際の検査の選択や具体的な被ばく低減のための方法など、小児のみならず成人での画像診断においても重要な考え方が記載されています。ぜひ、じっくりと時間を掛けて読んで頂きたい素晴らしい内容です。

▶ 第77回日本医学放射線学会は、2018年4月12日(木)～15日(日)の4日間、パシフィコ横浜にて、日本放射線技術学会、日本医学物理学会および国際医用画像総合展との合同で、Japan Radiology Congress (JRC) 2018として開催いたしました。メインテーマは、“夢のような創造科学と人にやさしい放射線医学 (Innovative Science and Humanism in Radiology)”とし、参加登録者25,871名もの方々をお迎えすることができました。日本医学放射線学会は、これからも夢のような創造科学を追究して参りますが、一方で診療におきましては、温かな血の通った人の手によって支えられた放射線医療でなければならないと考えています。そして、これからも「医療被ばく低減への取り組み」を目標に、国民が安心・安全な放射線医療を受けられるように皆で力を合わせて努力していきたいと思ひます。

今井 裕

「臨床放射線」第63巻 第7号

2018年7月10日発行 (毎月10日発行)

定価 (本体 2,600 円 + 税)

年間購読料金 定価 (本体 39,700 円 + 税)

[年間13冊(臨時増刊号を含む)の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600

FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail:info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。